

報告書〔4〕 分析結果及びフローシート

4 フタル酸ジ-n-ブチル

分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (ガイド25) 4. なし
分析主担当者名	分析主担当者の経験年数			②	年	分析主担当者の実績(検体数) ③
検体						

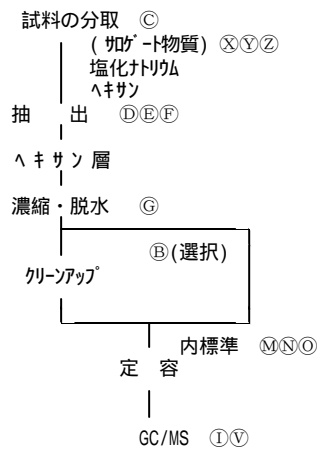
注1) 分析結果 ($\mu\text{g/l}$)	標準偏差 ($\mu\text{g/l}$)	測定回数 (回)
④	⑤	⑥

分析開始日	⑦	月	日
分析終了日	⑧	月	日

注1) 有効数字3桁で記入する。なお、2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。また、実施要領5(1)の希釈方法に従って調製した分析試料中の濃度を記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

< 溶媒抽出-GC / MS法 >



< 分析法等 >

分析法	① 1. 溶媒抽出-GC / MS 2. その他 ()
クリーンアップ	② 1. フロリシウムクロマトグラフ 2. GPCカラムクロマトグラフ 3. 実施しない
試料量	③ () ml
抽出溶媒の種類	④ 1. ヘキサン 2. その他 ()
抽出回数	⑤ () 回
溶媒量	⑥ () ml / 回
濃縮方法	⑦ 1. KD 2. ロータリ-エバポレーター 3. その他 ()
最終定容量	⑧ () ml

< 分析条件 >

注入量	① () μl
機器型式 (GC) 機器型式 (MS) 測定質量数 GC/MS 装置型式 検出法	メーカー () 型式 () メーカー () 型式 () ② () ③ 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他 ④ 1. SIM法 2. スカニング法
カラム型式 カラム形状	メーカー () 型式 () 内径 () mm 長さ () m 膜厚 () μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	1. N_2 2. He 3. その他 () ml / 分
試料注入部温度 試料注入方法	() 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

< 検量線の作成等 >

定量方法	⑤ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質 種類名 ⑥ 1. 4-クロロトルエン-d ₄ 2. ナフタレン-d ₈ 3. ビフェニル-d ₁₀ 4. フェナントレン-d ₁₀ 5. フルオランテン-d ₁₀ 6. クリセン-d ₁₂ 7. ペリレン-d ₁₂ 8. その他 () 添加量 ⑦ () ng
試薬 (標準原液)	⑧ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー ()
検量線	作成点数 ⑨ () 範囲 ⑩ () ~ ⑪ () 単位 ⑫ 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) 最高濃度のピーク高又は指示値 ⑬ ()
試料溶液	ピーク高又は指示値 ⑭ ()
空試験 注2)	ピーク高又は指示値 ⑮ ()
カゲ-ト物質の使用	⑯ 1. 使用していない 2. 使用する カゲ-ト物質 種類 ⑰ 1. フタル酸ジ-n-ブチル-d ₄ 2. その他 () 添加量 ⑱ () ng
検出下限値	⑲ () $\mu\text{g/l}$

< 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 >

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----

注2) 水について、試料と同様に操作する。